

授業デザインシート

3年3組	教科	社会（公民）	授業者	山口 巧	本時	3 / 5
単元・教材名	2節さまざまな国際問題 3 貧困問題				場所	被服室
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貧困が他の問題とどのように関連があるか資料をもとに読み取り、貧困の地域ではさまざまな問題が複雑に関連していて、自国だけでは解決できないこと理解することができる。（知識及び技能） ・ 貧困問題の解決に向けて、どのような取組が必要か考えることができる。（思考力、判断力、表現力等） 					
「主体的・対話的で深い学び」を目指す共通実践事項						
① 基礎・基本の確認 ②先読み・声出し ③学び合い活動の充実 ④自分の言葉で説明 ⑤一問のチャレンジ						
	主な学習活動	場 時間	共通 実践	指導上の留意点・形成的評価【●】		
導入	1 これまで学習した基礎・基本事項を復習する。	一斉5分	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した内容を、タブレットPCを活用して復習させる。 ・ 声出しがしやすいよう、友達同士で確認の時間を取る。 ・ 資料から貧困の生活をする人が特にサハラ以南のアフリカに多いことを確認させる。 ② 単元の学習課題を確認する。 ・ SDGsの目標の1つに貧困問題が取り上げられていることを確認させ、「誰ひとり取り残さない」ために、解決策を考えようという意識をもたせる。 		
	2 資料から、世界では多くの人が貧困状態にあることを確認する。	一斉5分				
	3 本時の学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">貧困問題を解決するために、なぜ各国の協力が必要なのだろうか。</div>	一斉1分	②			
展開	4 資料をもとに、貧困が「人口」「食糧」「医療」「教育」「水」「産業」の問題とどのように関連があるかを考え、それらの解決のためにその国や地域で何が必要かを考える。	個人7分 一斉6分	③ ④	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6つの項目から自分が追究するものを選びさせる。 ・ タブレットPCに資料（PDF）を配布し、ワークシートに追究したことをまとめさせる。【●知・技】 ・ 代表者にはホワイトボードに記入させ、発表させる。 ・ グループにそれぞれの項目を割り振る。 ④ ヒントカードを与え、先ほどの資料も活用させる。 ・ 班ごとにホワイトボードに記入させ、代表者に発表させる。 ・ 1つの要因は他の要因と関係が深く、自国では簡単に解決できないことに気付かせる。 ③ 個人で考えさせ、学び合いも取り入れる ④ 【●思・判・表】 ・ 複雑に関連する問題を解決するためには、多方面から他国の支援や自立を促す支援などが必要であることに気付かせる。 ② 「フェアトレード」「マイクロクレジット」「貧困者数の推移」を紹介する。 		
	5 それらの問題の解決が、なぜその国や地域でできないのかをグループで考える。	個人2分 グループ8分 一斉6分	④			
	6 それらを解決するために、どのような取組が必要かを考える。	個人3分 一斉2分	③ ④			
	7 貧困問題を解決するために実際に行われている援助や支援の例を教師から聞く。	一斉1分	②			
	8 本時のまとめを単元まとめシートに記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">貧困問題はさまざまな要因があり、それらが複雑に結び付いているため、自国では簡単には解決できない。そのため、援助をしたり、自立をするための支援をしたり各国の協力が必要である。</div>	一斉2分	④			
終末	9 本時の振り返りを行う。	個人2分	(⑤)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元の課題を踏まえて、クラゲチャートにまとめるよう指示する。 ・ 自分の言葉で文章表現をさせる。 ・ 終わった生徒は、「一問のチャレンジ」に取り組むよう指示する。 		